

平成 31 年度 学校目標 (定時制)

	視点	4年間の目標 (平成 28 年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習指導	① 教科指導においては、基礎基本を定着させることはもちろんのこと、「上級学校において役立つ学力」「社会の中で自ら生きていくために必要な学力」「学び直しとしての学力」の定着を図る。 ② 「学びの場」としての定時制高校の意義を再確認させ、生徒一人ひとりが主体的に授業に参加する授業づくりを実践する。	① 単位制システムを活用した多様な生徒のニーズに応える教育課程の確立を目指すとともによりよい学習環境を整える ② 生徒一人ひとりが主体的に授業に参加する授業づくりを実践し、基礎基本の充実を図るとともに学習習慣の確立を目指す。	① 新学習指導要領の趣旨を踏まえた、教育課程の確立を図るとともに、関係するグループと連携し、授業規律を徹底させ、よりよい学習環境を継続して整備する。 ② 定時制生徒の多様な状況やインクルーシブ教育の視点を取り入れた学習指導の充実を図るため指導主事を招いた研究授業等を実施し、組織的な授業改善に取り組み、職員のスキルアップを図る。 ③ SHR を 10 分に拡大し、基礎学力の定着と学習習慣の確立をめざし、毎日コツコツ取り組む「学びなおし」の時間を設定し、学びなおしを充実させる。	① よりよい学習環境を整えることが出来たか。 ② 生徒自らが受信して考え発信する場を設定し、生徒の言語活動を充実することができたか。また、職員の組織的な授業改善の取り組みが深められたか。 ③ SHR の時間を活用した学びなおしを充実させることが出来たか。
2	生徒指導・ 支援	① 一人ひとりの生徒理解に基づく生徒指導や教育相談体制を充実させ、希望をもって学べる学校づくりを進める。 ② すべての教育活動を通して道徳教育を推進し、道徳的心情と道徳的判断力を育む。	① 安心安全な学習環境を維持するとともに、教育相談体制を充実させ、関係機関と連携を密にし、学校生活を支援する。 ② 各活動において状況に応じた言動や判断ができる態度を育成し、キャリア教育の視点を踏まえた指導体制の構築を行う。	① 校内巡回を徹底するとともに、日々の巡回状況をデータ化し全職員がリアルタイムで情報共有できる体制を構築する。 ② 様々な問題を抱える生徒に寄り添うため教育相談体制の充実を図る。 ③ 各活動においてルールや規範意識の育成のため、年次団、各グループと連携を強化し、キャリア教育の視点で指導を行う。	① 巡回情報をデータ化し、全職員が情報共有して、安心安全な学習環境を維持できたか。 ② 関係機関と連携し、教育相談体制を充実させ、学校生活の支援ができたか。 ③ ルールや規範意識の育成のため、年次団、各グループと連携を強化し、キャリア教育の視点で指導できたか。
3	進路指導・ 支援	① キャリア教育の一環として、道徳教育との関連性をもって、すべての教育活動において、生徒一人ひとりが社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる能力や態度を育てる。	① 生徒一人ひとりの職業観の育成に取り組み、それぞれが希望する進路実現のために必要な支援を行う。	① 多様な定時制生徒の状況に応じたきめ細かい指導を実現するために年次団とグループが密接に連携する。 ② 生徒一人ひとりが、自分の個性や適性を理解する機会増やすため、進路ガイダンス等を充実させる。	① 年次団とグループが密接に連携し、多様な定時制生徒の状況に応じたきめ細かい指導を実現できたか。 ② 進路ガイダンス等を充実させ、生徒一人ひとりが、自分の個性や適性を理解する機会増やすことができたか。
4	地域等との 協働	① 家庭や地域の教育力の活用と関連行政機関との連携を一層充実させ、教育力の向上を図る。	① 地域および学校間の連携を強化し、開かれた学校づくりを推進する。	① 学校、家庭、地域と連携した教育活動、開かれた学校づくり、学校説明会、ホームページ等を広く活用した学校広報活動の推進を図る。	① 地域や外部機関と連携を図り、学校周辺の環境整備事業やその活動状況について徹底できたか。
5	学校管理 学校運営	① 学校防災力の向上を図り、自らのいのちを守る防災教育を実践する。 ② 不祥事防止を徹底するとともに、教職員の課題解決能力を一層向上させる。	① 安全・安心で信頼される学校づくりを推進する。 ② 生徒、保護者と職員の信頼関係の強化と情報の共有化に取り組む。	① 防犯・防災体制の構築、防災教育の徹底により、学校防災力の向上を図る。 ② 関係グループと連携し、まちコミメール等で情報発信体制の確立を図る。	① 防災学習会や夜間停電体験や、地域と防災対策について連携を強化できたか。 ② 保護者への適切な情報発信と体制が確立できたか。